

# 第1回 習志野市次期基本構想・基本計画策定市民会議 会議概要

日 時：平成24年5月26日（土曜） 10時00分から12時30分まで

場 所：習志野市 本庁舎5階会議室

議 事 録：

<b>議 題 及 び 会 議 の 概 要</b>	<p><b>【議題】</b></p> <p>開 会</p> <p>市長あいさつ 委嘱状交付</p> <p>市民委員自己紹介</p> <p>勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 習志野市の歩み</li><li>・ 習志野市の財政状況</li><li>・ 市民会議の役割、進行方法</li></ul> <p>閉 会</p> <p><b>【会議の概要】</b></p> <p>《市長挨拶》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 今回の市民会議の声かけは住民基本台帳を使い20歳以上の男女350名を無作為抽出。</li><li>・ 習志野市を知っている方・知らない方もいる中で、実際行政がやっていることで見えなかった所も見えてくるのではないかと考えこのような手法をとった。</li><li>・ 今回策定して頂くのは平成26年度から約12年間という見通しの中での基本構想。基本計画の素案。</li><li>・ 市民委員の皆さんには貴重なお時間を頂き議論いただく。行政としてもしっかり対応し、意見交換させて頂きたいと思う。</li></ul> <p>《勉強会》</p> <p>[習志野市の歩み]</p> <p>(1) 説明</p> <p>まずこの歴史の話をする前に、以下の3つの課題を設ける。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 中心市街地の不確立</li></ol> <p>→ 日本のまちの発展は、宿場町・門前町・城下町に由来する。習志野地域は御成街道では船橋（宿場町）一東金（御鷹場）、房総住環道では船橋（宿場町）一千葉（市場町）との間に位置することから、中心市街地として発展することは無かった。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>2. 公共施設の老朽化</li></ol> <p>→ 本来は公共施設等の維持管理、更新に投資すべき財源を文教住宅都市憲章による人件費や扶助費、物件費に充当し、行政サービスの拡充を図ってきた。その結果、公共施設の老朽化が非常に進行しているのが現</p>
--	---

	<p>状。</p> <p>毎年約40億5千万円の事業費に対して、確保可能な事業費は約21億円であり、このことから今後の公共施設の建て替え可能な割合は、約52%。</p> <p>3. 既存防災対策</p> <p>→ 千葉県は東京湾を震源とする地震での津波の高さを50cm程度としてきたが、東日本大震災を受け、既存防災対策の抜本的見直しを進めた。</p> <p>[習志野市の財務状況]</p> <p>(1) 説明</p> <p>平成24年度の習志野市の財務を見ていく。</p> <p>まず歳入については、平成22年度の地方交付税増加や子ども手当、生活保護費など扶助費が増加したことにより、国県支出金が増加したため、歳入全体が増加している。</p> <p>歳入の内訳をみると、市税が全体の51%を占めており、市の歳入の大黒柱といえる。</p> <p>市税は減少傾向にあったが、平成17年度から、景気の回復や税制改正などの影響により増加に転じる。しかし平成20年度後半からの景気低迷により減額。</p> <p>地方交付税は普通交付税の大幅な増加により152.4%の増加。</p> <p>国県支出金は、平成21年度に定額給付金など国の経済対策の取り組み、生活保護費をはじめとする扶助費の増加により増額。平成22年度は子ども手当給付費負担金、さらに生活保護費の増加によりさらに増額となった。</p> <p>歳出については、人件費は、退職者不補充・新規採用の抑制による職員数の減少、給与改定、各種手当の見直しなどにより削減を進めてきた結果年々減少しているが、歳出の中では最も多く、全体の約24.2%を占めている。これは、習志野市が文教住宅都市憲章を掲げ、幼稚園・保育園、習志野高校など運営しているため、そこで働く職員が必要となっているためである。</p> <p>扶助費は、社会情勢の変化による生活保護費の増加、子ども手当の制度改正による増加により上昇し続けている。</p> <p>普通建設事業費については、その年に行う工事内容によって変動があり、平成22年度は小中学大規模改造事業、JR津田沼駅南口特定土地地区画整理事業、保育所の耐震対策などの実施により上昇した。</p>
--	---